



2023年  
2月号

# 風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

まだまだ寒い日が続きます。今年の大雪に雪国や日本海側の方はどんなに大変な思いをなさっている事かとお見舞い申し上げます。ぽかぽか春を心待ちにさせていただきますね。

2月3日は節分の日です。「節分」とは、季節を分ける「季節の節目」を意味しています。冬と春の季節を分けるので、節分の翌日は立春となるのです。昔は季節の変わり目には悪いが入りやすいと考えられていたので、豆まきなど様々な邪気祓いの行事が行われています。

先日保育園では早々と鬼退治をしました。ぞう組(5才児)の子ども達が、本物…の鬼に立ち向かい、手作り豆の他最後には柊とイワシの頭をかざして保育園の外へ鬼を追い出してくれました。本物ではないと分かっている怖い気持ちには変わりありません。そんな気持ち乗り越え鬼に立ち向かうことができるようになった卒園間近の子どもたちの心の成長を嬉しく感じました。保育園ではいつでもぞう組さんは小さい子ども達の憧れの存在です。

これからも子ども達が健やかに成長することを願うばかりです。



## お誕生日おめでとう

1才おめでとう	
2才おめでとう	だんくん
3才おめでとう	
4才おめでとう	たまきちゃん
5才おめでとう	れいなちゃん
6才おめでとう	



2月の予定	
1	水 つくしんぼの会リハーサル 記念写真(5才) ハイチーズ撮影日
2	木 つくしんぼ練習見学日(2・4才児クラス)
3	金 つくしんぼ練習見学日(3・5才児クラス)
4	土 つくしんぼの会
5	日
6	月 ちゅっちゅこっこの会(乳児)
7	火 つくしんぼの会記念写真(2.3.4.5才)
8	水 0才児健診 海の学習
9	木
10	金
11	祝 建国記念の日
12	日
13	月 乳児誕生会 ちゅっちゅこっこの会(幼児)
14	火 0才児健診
15	水 171災害ダイヤル
16	木
17	金 ポニー活動
18	土
19	日
20	月 ちゅっちゅこっこの会(乳児)
21	火 卒園式練習
22	水 卒園記念写真(5才)
23	祝 天皇誕生日
24	金
25	土
26	日
27	月 ちゅっちゅこっこの会(幼児)
28	火
29	/
30	/
31	/

(予定は変更になる場合があります)

◇名札の着用をお願いします

## りす組(3才児)です よろしくね！

1月からりす組では、当番活動が始まりました。お当番の仕事は、キッチンの先生にその日の果物を聞き、集いの中で前に立って自分の名前や聞いてきた果物を発表します。その他、職員から頼まれた簡単なお手伝いも行います。

お部屋に子どもたちの写真で作ったお当番表を掲示するとそれに気づいた子どもから「これなに??」と興味津々、「ひつじ組やぞう組みたいにお当番をしますよ」と伝えると「ほんと！やった～！」と目をキラキラ輝かせていました。クラスの集いでりす組でもお当番を始めることを伝え「話を聞くときは、どうやって聞いたらお当番さんが話しやすいかな」の問いかけに、「まえをむく！」「せなかピンとすわる！」等々子どもたちからも沢山の言葉が聞かれました。日々の集いの中で背筋を伸ばし一生懸命、お当番の話や聞く事で、話を聞く姿勢や意欲に繋がっています。

又、いつ自分のお当番が来るのかワクワク・ドキドキしながら、次の日が自分の番だとわかると「がんばります！」と期待にあふれた言葉と表情の子ども達です。

当番活動で任されたことにやりがい溢れる姿、そして自分たちでできることに自信を持ちながら進級に向けての期待をたくさん持てるようになっていきます。



## 今年も良い年になります様に・・・

今年も獅子舞がやってきました。獅子舞は、職員が踊りを伝承しながら、子ども達に見せています。今年は3人の先生が交代で披露してくれました。日頃から見知っている先生が入っている安心感から、楽しんで見ることが出来ました。おひねりを獅子舞の口に入れ、今年も元気に過ごせますようにと、頭を噛んでもらいました。0.1.2才児の子ども達も2階から観覧しました。今年も幸多き一年になりますように・・・



## こどものつぶやき ばんび組(1才児)

お出かけごっこが大好きなばんび組の子ども達…  
Aちゃんが鞆を手に持ち「どうぶつえんいってくるね～ばいばいー！」と歩き出すと「Bちゃんもいくー！」「でんしゃのついでいこう」と傍にいたCちゃんも加わり、電車に見立てた長椅子に三人で並んで座り電車を楽しんでいました。そこへDくんがやって来て、「つかまってるね～」と長椅子の傍に片手を挙げて立ちました。どうやら満員電車で座れず、つり革につかまって乗っているようです。

しばらく乗っていると…Aちゃんの「どうぶつえんついたよ」の言葉を合図にみんな一斉に、お部屋の動物の写真が貼ってある場所まで走りだし、「きりんさんがいるよ！かばさんもいる！」「Dくんゴリラすきー！」と動物園にいるように楽しんでいました。

お友だちの一言で、遊びがどんどん膨らんでいく様子や、日々の体験を遊びで表現していく姿に成長を感じました。もうすぐ…うさぎ組さんです！

## 鬼退治したよ！

今年も各クラスで紙芝居「おなかのなかにいる」を読み、節分(豆まき)の意味を子ども達に伝え、自分たちの心の中にある(怒りんぼ鬼、泣き虫鬼、ぐうたら鬼等々)どんな心の鬼を退治したいのかを考え、鬼のお面や三方を作りました。又、全国各地からある豆の誤飲事故報告を受け、今年から当園でも豆まきの豆は子ども達の気持ちを込めた新聞紙を丸めた手作り豆を使って鬼を退治しました。

当日はりす組さんから順にクラス毎に張りぼての鬼に向かって豆を投げ「心の鬼退治」をしていましたが、なんと…ぞう組さんが豆を投げ始めたところに、本物の鬼の登場！！小さいクラスの子ども達の応援を受け、ぞう組が力を合わせて鬼を保育園から追い出してくれました。ありがとう！！ぞう組さん！

## たかさごの教育(手先) 第10回

うさぎ組(2才児)の後期になると、子ども達の遊びの広がりとともに、手指の機能の発達がより巧みになり、自分の身の回りのことを自分でしようとする意欲が沢山みられるようになっていきます。

子ども達の自立に向けて、手指の機能の発達を促すことは、とても大切なことです。例えば生活面では、着替えの際にはあずま袋を使用し結んでいますが、両手で袋の端を持ち交差したまま片方の端を穴に通すことは難しい動作です。交差の状態を保とうと握ることに力が入ってしまうと指がうまく動かさず、どこの穴に通せばいいのか空間の理解も不確かな中で端だけがグルグルと空回りしてしまうこともありますが、繰り返しの中で親指、人差し指、中指それぞれの指の動かし方が分かり、技術として指を使えるようになった他、端をどう動かせばいいのか、目で見てわかるようになりました。

このように目と手を連動(協応)させることは、生活を営む中(ボタンやチャックの開閉等)や学習(数を数えたり文字をマスの中に書く等)することにおいて、とても重要な力です。結ぶ力を獲得すると遊びの中でも結ぶことを楽しむ姿が見られるようになっていきます。お友だちの腰にバンダナをまいて結んであげたり、結べそうなものを見つくと紐が短くなるまで結び続けたり結べるのが楽しい、嬉しい、そして何より自分ができるという大きな自信になっていることを感じます。